

第1節 将来像

1. 新市づくりの基本姿勢

私たちの新市は、将来に向けて、魅力ある県西地域の形成を先導する中心都市としての役割が期待されます。少子高齢化や国際化、情報化などの急速な社会情勢の変化に適切に対応しながら、地方分権社会をリードする自主的・自立的な都市として発展していくことが広域的にも重要な課題です。

そのため、長い歴史と文化を共有し、豊かな自然や田園に囲まれて、ともに発展してきた古河市と総和町、三和町が合併して誕生する新市は、こうした風土を礎としながら、中心都市にふさわしい文化、教育、医療、環境などの高次都市機能や多様な産業の集積を高め、ゆとりある豊かな暮らしと市民文化の創造を目指します。そして、市民一人ひとりが互いに尊重し合いながら、住む人も訪れる人も、みんなが新市にかかわりを持つことに誇りと愛着を感じ、こうしたかかわりを発展的に進化させながら、より魅力あるまちづくりにつなげていくことを大切にしていきます。

県西地域の中心的都市としてふさわしい魅力あるまちづくり

先人の努力によって守り育まれてきた豊かな歴史・文化や自然・田園の恵みを活かし、3市町の特性を踏まえながら、広域的な中心性を維持・強化し、にぎわいや活気を育む拠点形成やそのネットワークを充実するなど、期待される都市機能の集積や多様な都市活動を促す都市の基本構造の形成を目指します。あわせて、各地域の「らしさ」づくりにつながる質の高い都市空間を創出しながら、県西地域の中心的都市にふさわしい「格」の創造を目指すなど、将来への発展的・創造的なまちづくりを基本姿勢とします。

ふれあいと共生を大切にするまちづくり

新市では、県西地域の中心的都市として、就業やレクリエーションなどの場として、市内外にわたる人々が様々な営みを送っているとともに、教育・文化・スポーツ・福祉、その他様々な分野で、市民や団体などの活動も活発です。今後さらに、さいたま新都心などの主要な都市との連携をはじめとして市内外にわたる様々な交流を育み、地域の活力や魅力を高めていくことが大切です。

また、豊かな歴史・文化や自然・田園は私たちの誇りであり、かけがいのない地域資産です。こうした環境を大切にしながら、様々な交流を適切に受け止め、育んでいく必要があります。人と人、人と環境・地域など、様々なふれあい、かかわりを共生という視点から高めながら、安らぎや豊かな暮らし、そして新たな活力や文化を育む、持続的で創造的な地域社会の実現を目指すことを基本姿勢とします。

一人ひとりが主役のまちづくり

一人ひとりを尊重し、誰もがいきいきと生涯を送ることができるまちづくり、これは新市づくりの基本であると考えます。市民をはじめ、新市にかかわりを持つ人々、みんなが互いに尊重し合い、支え合いながら、市民と行政の協働を基本として、さらにそのまちづくりの和を広げながら、一人ひとりの立場を尊重した、みんなが主役のまちづくりを基本姿勢とします。

2. 新市の将来像

新市の将来像は、新市づくりの基本姿勢を踏まえ、定めます。

風格と希望に満ちた “いきいき古河”

豊かな自然や田園の恵みと、
脈々と築きあげてきた地域の歴史や文化を
まちの風格、そして市民の誇りとして高めながら、
一人ひとりが尊重され、
希望をもっていきいきと生涯を楽しむことができる
まちづくりを目指します。



3. 新市において強化すべき機能

新しい時代を拓く新市建設に向けて、将来像は多くの期待と内容を含んでいますが、その中でも特に整備・強化すべき都市としての機能を次のとおり考えます。人と人、人と環境・地域など、新市内外にわたる様々なふれあいや交流を通じて、こうした各機能を確実に育てていきます。

いきいきとした活力創造の都市^{まち}

県西地域の中心的都市機能を担う都市の実現を目指し、首都圏中央連絡自動車道や筑西幹線道路などの広域的な交通網の整備を踏まえながら、古河駅を中心とする都市拠点や新駅設置にあわせた新都市拠点の形成をはじめ、産業や水、緑を生かした交流などを育む拠点の形成を図るとともに、各拠点間を連絡し都市機能の拡大を促す魅力ある都市軸の形成を進めます。こうした取り組みを軸としながら、さらに歴史・文化や自然・田園などの地域資産を活かし、地域に磨きをかけながら、住む人や訪れる人などの様々なふれあいと活力を育み、豊かな市民文化を創造・発信し続けるまちづくりを進めます。

ゆとりと安らぎの快適環境の都市^{まち}

誰もが住み慣れた地域で生涯を通じて安心して健やかに暮らすことができるよう、身近な道路や公園、下水道などの生活基盤施設を整備・充実するとともに、健康・福祉・教育・文化などの多面的な活動と支援策を有したふれあいのネットワークやその推進体制の整備を進めます。

特に、子どもやお年寄り、障害を持つ人たちも安全で、安心して暮らせるよう、地域における支え合いや助け合いの心とネットワークを育みながら、ユニバーサルデザインに配慮した快適環境のまちづくりを進めます。

自然豊かな美しい環境共生の都市^{まち}

豊かな自然や田園、そしてそこに生息する動植物など、こうした環境を守り育み、「共生」という視点から私たちの暮らしとのかかわりを高めながら、地球環境問題にも十分配慮し、省エネルギーや循環型、低環境負荷型の環境共生のまちづくりを進めます。

みんなで考え、創る自主自立の都市^{まち}

一人ひとりが主役のまちづくりを基本姿勢として、3市町の持っている良さと、一体になることによる可能性を最大限に引き出しながら、市民と行政、さらに団体、企業や地域にかかわりを持つ人々など、すべての人々が参加・協力し、みんなで考え、創造する自主自立のまちづくりを進めます。

第2節 基本方針

将来像を踏まえ、新市のまちづくりの基本方針を以下のとおりとします。

1. 水と緑と共生した快適なまちづくり (都市基盤・生活環境)

豊かな水と緑を守り、誰もが安全で快適に暮らし続けることができるまちづくりを進めます。

2. ともに学び豊かな心を育む人づくり (教育・文化)

生涯にわたる様々な学習活動を通して、明日を拓く創造力に満ちた豊かな人づくりと、歴史や自然環境など地域に根付いたいきいきとした市民文化を創造するまちづくりを進めます。

3. 健やかに安心して暮らせるまちづくり (健康・福祉)

地域の助け合い、支え合いなどを基本として、誰もが健康で安心して暮らしていくことのできる、あたたかな福祉のまちづくりを進めます。

4. 活力に満ちた豊かな産業づくり (産業振興)

豊かな自然や地域の歴史・文化と産業の関わりを大切にしながら、暮らしを支え魅力や誇りにつながる活力ある産業基盤を整えます。

5. みんなで進める協働のまちづくり (自治・コミュニティ)

一人ひとりの尊重を基本とした様々な交流を通し、住民と行政が協働で担い合う、自立性の高いまちづくりを進めます。

第3節 土地利用構想

1. 基本的な考え方

新市においては、県西地域の中心都市としての機能を担う快適で多機能な都市環境の形成を図るとともに、これまでの3市町の歴史や育んできた地域固有の環境を継承し、美しい河川や田園、山林の緑などの豊かな自然と共生する環境を地域の魅力・活力づくりにつなげていく土地利用の実現をめざします。

県西地域の中心都市としてふさわしい発展を促す土地利用の推進

県西地域の中心都市としてふさわしい多機能で快適な都市づくりに向けて、古河駅を中心とする都市拠点や新駅設置にあわせた新都市拠点、産業や水、緑を生かした交流などを育む拠点の形成を図ります。合わせて、広域的な交通網との連携に配慮しながら、各拠点間を連絡しそれぞれの機能や魅力を高めていく都市軸の形成を図り、秩序ある発展を促す土地利用を推進します。

また、こうした拠点や軸を中心に、歴史・文化や自然・田園などの地域資産を保全・継承する取り組みを通じて、新たな交流の創造につなげていきます。

中心市街地と郊外型市街地、自然豊かな田園地域に調和した土地利用の推進

中心市街地－郊外型市街地－田園地域と広がる新市の基本的な都市空間構造を踏まえ、様々な住み方・働き方・暮らしの楽しみ方など、多様な市民の生活ニーズに対応した多様な土地利用を創造していきます。

また、それぞれの地域の歴史や文化、自然に調和した環境を地域の魅力・活力につなげていくため、地域の特性に応じた拠点づくりや、交流・ふれあいを通じて自然や田園の維持・再生に努めていきます。

新市の魅力を高める質の高い都市環境・景観の創出

歴史的資源の保全・活用やまちなみの保全、お祭りや伝統芸能などを継承していく場づくりなどを通して、周辺都市をリードする都市としてふさわしい「格」の創造につなげ、質の高い都市空間・田園空間づくりを推進し、新市の歴史や産業・文化を大切に、新たな市民文化に発展させていきます。

また、利根川・渡良瀬川をはじめとする河川や広大な田園地域を背景に、風土に息づく美しい都市環境・景観の創造に努めます。

2. 土地利用区分

新市の土地利用は、中心市街地－郊外型市街地－田園地域と広がる新市の基本的な都市空間構造を大切に、それぞれの地域の特性・個性が活かされた都市的土地利用・自然的土地利用の形成を図ります。

都市的土地利用

○中心市街地

JR古河駅周辺の既成市街地については、商業・サービス機能の集積・拡充を図るとともに、魅力ある都市空間・景観形成を進めます。

○住居系市街地

中心市街地に近接する地域においては、若い世代から高齢者まで多様な居住形態に対応した都市型の住宅地の形成を図ります。また、その周辺地域においては、都市的利便性と自然環境の調和が図られたゆとりある郊外型の住宅地を形成します。

○産業系市街地

周辺の自然環境との調和を図るとともに、産業構造の変化に柔軟に対応しつつ優良企業の集積を促進していきます。

自然的土地利用

○田園地域

市街地をとりまく田園地域においては、農地の保全や道路等の生産基盤の充実、集落地の生活環境整備を推進するとともに、ゆとりある田園環境と美しい景観の形成を進めます。

○緑の保全・活用区域

利根川をはじめとする河川の水辺やまとまりのある平地林などについては、積極的に保全・整備を図り、身近に自然とふれあえる環境づくりや自然学習の場、市民のだれもが緑のなかで健康的に活動できるレクリエーションの場として活用していきます。

3. 拠点とネットワークの形成

県西地域の中心的都市としてふさわしい魅力と活力ある快適な中心市街地や、自然環境と調和したゆとりある郊外型の市街地、自然豊かな美しい田園地域を形成していくため、産業・文化などの都市の活力づくりを先導する拠点や水・緑とのふれあいを大切にした環境づくりを先導する各種拠点の形成を図ります。また、拠点間を結ぶ交通軸や様々な交流を育む軸の形成により相互のネットワークの強化を図ります。

【拠点】

拠 点 名	拠 点 位 置
都 市 拠 点	JR宇都宮線古河駅周辺
新 都 市 拠 点	JR宇都宮線新駅予定地周辺、新幹線新駅予定地周辺
行 政 ・ 文 化 拠 点	古河市役所周辺、総和町役場周辺、三和町役場周辺
水みどり文化交流拠点	雀神社周辺、清水丘親水公園周辺
みどりの交流拠点	古河総合公園周辺、ネーブルパーク周辺、 上大野グランド周辺、三和ふるさとの森周辺
文 化 交 流 拠 点	古河・総和接点地区周辺、 三和町農村環境改善センター周辺
みどりと産業交流拠点	新4号国道と筑西幹線道路結節点周辺、 名崎送信所跡地周辺
産 業 交 流 拠 点	丘里工業団地周辺、北利根工業団地周辺、 片田地区周辺、尾崎東部地区周辺

【軸】

軸 名	軸 位 置
都 市 軸	JR宇都宮線古河駅から三和町名崎送信所跡地周辺へ抜ける東西軸
新 都 市 軸	古河・総和接点地区からJR宇都宮線新駅周辺へ抜ける南北軸、 JR宇都宮線新駅周辺から筑西幹線道路と国道354号の結節点へ抜ける東西軸
みどり文化軸・歴史軸	旧日光街道南北軸、総和町丘里工業団地周辺から総和町北利根工業団地周辺へ抜ける南北軸、諸川地区の結城・野田線の南北軸

